



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人／筒井和浩

vol.125

2025.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・こくみん共済coop・岐阜県勤労福祉センター <http://gifu.rofuku.net>

—— 第71回定期総会開催 ——

～労働者福祉運動の連携を強化し、地域に共助の輪を広げよう！～



筒井会長



議長
大村常任幹事



岐阜県
森島課長



岐阜市
山本次長

2025年5月29日(木)9:30より、ワークプラザ岐阜5階大ホールにおいて岐阜労福協第71回定期総会を開催しました。最初に司会の大宮副会長より、定数34名に対し、出席が23名、委任状が10名、合計33名を確認し、規約第16条の総会要件の成立宣言があり、その後、大村常任幹事が議長に選出されました。冒頭に岐阜労福協筒井和浩会長が挨拶し、岐阜県商工労働部労働雇用課森島恵理子課長、岐阜市経済部山本哲也次長兼経済政策課長の2名の祝辞の後、議事に入りました。報告事項は、加藤事務局次長より2024年度活動報告を提案、多数の拍手で承認されました。第1号議案は、加藤事務局次長より2024年度決算報告、監査報告は、大江監査より報告され、賛成23、反対0、保留0で承認されました。第2号議案は、櫻井事務局長より、2025年度活動方針(案)および予算(案)について一括提案され、賛成23、反対0、保留0で承認されました。第3号議案は、村上常任幹事より2025～2026年度役員改選(案)について提案され、賛成23、反対0、保留0で承認され、新役員を代表して筒井会長から挨拶がありました。また、本年度で退任された長谷部幹事と櫻井事務局長より退任の挨拶を受けました。最後に大宮副会長の閉会挨拶にて、承認いただいた2025年度活動方針にもとづいて今後の活動を展開していくために全役員・会員の皆様にご協力をお願いし、第71回定期総会は無事終了しました。

「投資と投資詐欺被害」をテーマに記念講演会を開催

2025年5月29日(木)13:00より、愛知産業大学経営学部総合経営学科奥田真之教授を講師に「投資と投資詐欺被害」をテーマに、71名の参加者により記念講演会を開催しました。また、今回の記念講演会は、岐阜労福協が会員となっている消費者ネットワーク岐阜が、岐阜県から受託している「若年層向け消費者教育推進業務」の「若年層への金融経済教育講演会」として共同開催となりました。最初に筒井会長が挨拶し、講演を開始しました。

講演では、最近の金融経済情勢では、トランプ関税の影響により、物価上昇と景気後退するスタグフレーションが起こることが心配されること、「投資」とは、将来の価値や満足を高める目的で何かをあとに残すためにお金を使うこと、一生お金に困らないためには、長期的な視点から自分が望む「ライフプラン」をたて、



▲記念講演会

実現のため資金計画に沿って貯蓄していくこと、投資詐欺に遭わないための5つのポイントは、①ちゃんとした銀行や証券会社を利用する ②税制面で優遇のあるNISAやiDeCoを活用する ③「長期・分散・積立」を心掛け、一時的な乱高下で極端な投資は避ける ④FX、暗号資産、不動産投資などリスクの高い投機的な投資には手を出さない ⑤ローリスク・ハイリターンと説明する金融商品は詐欺である。投資にうまい話しはあり得ず、「あなただけにうまい話し」は詐欺である、自分が特別だという意識は捨て疑ってかかり、信頼できる人に相談することが必要であると語られました。

講演会の後に、パネルディスカッションを行い、4名のパネリストより、講演を聞いて各自の立場からの意見、投資と詐欺防止を両立して進めていくためにはどうしたらいいか、立場の異なる団体への要望等、意見や情報を交換し、有意義なディスカッションとなりました。

パネルディスカッション

コーディネーター 奥田真之教授

パネリスト

(消費者行政の立場から)	佐藤優子氏	岐阜県環境エネルギー生活部県民生活課長
(消費者被害の防止の立場から)	花井泰子氏	岐阜市消費生活センター
(投資を行っている立場から)	佐藤一幸氏	JP労組岐阜県連絡会議長
(投資を推進する立場から)	中村隆之氏	東海労働金庫営業統括部副部長



▲講師 奥田教授



▲パネルディスカッション

岐阜県勤労福祉センター 第56回定期総会を開催

5月29日(木)11時より、岐阜県勤労福祉センター第56回定期総会が開催されました。議事では、第1号議案:役員改選の件、第2号議案:理事及び監事の報酬額の件、第3号議案:貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認の件について提案し、決議の結果、すべての議案が全会一致で承認されました。



▲議長 堀田理事

岐阜支部



岐阜支部の2025年度定期総会は、6月26日(木)にワークプラザ岐阜にて開催しました。24名の参加、29組合の委任状により総会成立宣言を行い、冒頭、鳥山副支部長の挨拶、筒井会長から激励の挨拶を頂戴しました。議事では、2024年度活動報告および決算報告を行い、満場一致で承認され、2025年度活動方針および予算案、支部役員承認の件について提起し、満場一致で承認されました。2025年度は、昨年度以上に活動の活性化を図るとともに、会員組合との連携をより強固なものにしていきたいと思います。

2025
年度

岐阜労福協 各支部 定期総会 開催

西濃支部



西濃支部の2025年度定期総会は、6月30日(月)にサンワーク大垣にて開催しました。

冒頭、岡田支部長の挨拶で始まり、県労福協の加藤事務局次長より激励の挨拶をいただきました。2024年度活動報告・決算報告のあと、2025年度活動方針・予算・役員変更等が提起され、満場一致で承認されました。

中濃支部



中濃支部の2025年度定期総会は、6月20日(金)に美濃加茂市生涯学習センター(202号室)にて開催しました。冒頭、長谷部支部長の挨拶で始まり、県労福協の筒井会長より激励の挨拶を頂戴しました。

議事では2024年度総括と2025年度活動方針・新役員の承認等の諸議案を審議し、満場一致で承認されました。連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向け、文化・体育活動や生涯福祉の充実、会員・事業団体との連携を深める活動を行っていくことを確認しました。

東濃支部



東濃支部の2025年度定期総会は、6月17日(火)に瑞浪市総合文化センターにて開催しました。冒頭、加藤支部長が挨拶したのち、県労福協の筒井会長より激励の挨拶を頂戴しました。議事では2024年度の総括、2025年度の活動方針・予算の審議、役員の報告をおこない、満場一致で承認されました。2025年度も引き続き、労働者福祉事業団体他とも連携し、会員の文化体育他の活動を充実させていくことを確認しました。

飛騨支部



飛騨支部の2025年度定期総会は、6月9日(月)に高山市民文化会館にて開催しました。冒頭、小井戸支部長の挨拶があり、その後、来賓の筒井会長よりご挨拶を受けました。

総会は、2024年度の各種報告、2025年度の活動方針や予算、新役員が提案され、満場一致で承認されました。特に「なんでも相談会」「飛騨地域勤労者サポートセンター」を各自治体のご協力のもと、さらに充実した事業にすることなど確認されました。

第96回岐阜県中央メーデー開催



会場のようす



プラカードコンテスト

2025年4月26日(土)10時より、岐阜市金公園にて、第96回岐阜県中央メーデーが開催されました。

当日は連合岐阜の構成組織の組合員をはじめ、労働福祉団体、岐阜県退職者連合などの関係団体から892人が参加しました。

式典では、冒頭に主催者を代表して、連合岐阜会長で岐阜労福協会長の筒井和浩実行委員長のあいさつで始まり、その後、来賓の小島光則岐阜県商工労働部長、柴橋正直岐阜市長、今井雅人立憲民主党岐阜県総支部連合会代表、伊藤正博国民民主党岐阜県総支部連合会代表からそれぞれあいさつをいただきました。

続いて、ご来賓の紹介と祝電・メッセージを披露し、その後、参加された労働組合・各団体が作成したプラカードのコンテストを行い、連合岐阜賞、岐阜労福協賞、岐阜地協賞、岐阜地区労賞、労福協岐阜支部賞を発表し表彰しました。

最後に、スローガン「次代につなぐ 平和の願い! みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来(あした)を!」の確認、メーデー宣言の採択、「戦後・被爆から80年 次代につなぐ平和の特別決議」の採択、がんばろう三唱を高らかに参加者全員で唱和し、閉会しました。

その後、参加者は金公園から金神社東側の広場までシュプレヒコールを唱えながらアピール行進を行い、賃上げや労働条件の改善、世界平和を訴えました。

第96回岐阜県中央メーデー ファミリーフェスティバル開催

岐阜労福協は4月26日(土)11時より、岐阜市金公園で開催された第96回岐阜県中央メーデーファミリーフェスティバルにブース出店し、「令和6年能登半島地震」に対する復興支援として、「能登米応援セットと復興応援米」の販売を行いました。今回のファミリーフェスティバルは、新型コロナウイルス禍などを経て7年ぶりの本格開催となりました。

お米は、「#とりもどそう能登!お米農家応援プロジェクト」として、農家さんへ売上金の20%を還元し復興支援を応援する石川県羽咋郡の中橋商事株式会社から、能登米応援セットを2kg100個、計200kg、復興応援米5kg40個、計200kgを購入し、ご来場の皆さまに計131個をお買い上げいただきました。ご来場、お買い上げいただきました皆さま、ご協力ありがとうございました。

なお、当日の売上金299,750円は、全額カンパ会計に繰り入れ被災地義援金として拠出し、被災された方々を支えるため、その全額を被災地支援や復興支援とします。

また、会場の盛り上げに大道芸人の「とっぽさん」と「がーこさん」が登場し、防災をテーマにしたショーが行われ、東日本大震災時に被災地訪問をした経験をふくめ、来場者にパフォーマンスの楽しさとクイズを交えて防災の大切さを届けました。



震災復興米のブース出店



防災クイズの様子

◆ 東海労働金庫 第25回通常総会



6月23日(月)に名古屋市の「ウインクあいち大ホール」において、東海労働金庫第25回通常総会が愛知・岐阜・三重の308会員より代議員が出席し開催されました。各議案審議および理事選任は全会一致で承認されました。

◆ 岐阜県労働者共済生活協同組合 第67回通常総代会 ◆ こくみん共済coop岐阜推進本部 第8回組合員代表者会議

『岐阜県労働者共済生活協同組合 第67回 通』



7月31日(木)ワークプラザ岐阜において、岐阜県労働者共済生活協同組合第67回通常総代会およびこくみん共済coop岐阜推進本部第8回組合員代表者会議が開催されました。

開催にあたっては、昨年に引き続き、「書面議決権」による議決権行使を取り入れ、総代数150名中、出席総代61名、書面議決89名、合計150名の出席で開催され、全ての議案について、満場一致で承認されました。また、24名の理事・監事(代表委員)が選任されました。

・ 会員産別への取り組み要請 ・

岐阜労福協では、中央労福協の「全国福祉強化キャンペーン」と連動し、岐阜県労働者福祉協議会および岐阜県内における労働者福祉事業団体(東海労働金庫、こくみん共済coop岐阜推進本部、岐阜県勤労福祉センター)の事業推進と利用拡大に向けた取り組みを展開いたします。

1.労働者福祉運動強化に向けた取り組みについて

(1)全国統一要請

- ①労働者自主福祉団体の運動と事業の前進に向け、中央労福協、労働金庫、こくみん共済coopとのさらなる連携、および利用促進・共助拡大の強化をお願いします。また、貴組織の定期大会の議案書へ、自主福祉活動の一環として「労働者自主福祉運動の強化」に関する運動方針掲載、補強および広告掲載し、加盟組織へ周知をお願いします。あわせて、定期大会の議案書を各労働者福祉事業団体の担当職員に渡していただきますようお願いいたします。
- ②貴組織ならびに加盟組織における教育研修のプログラムに労働者福祉運動のテーマを盛り込むなど、担い手育成の研修会等の企画・実施の強化をお願いします

(2)岐阜労福協独自要請

- ①貴組織や加盟組織で開催する、セミナー・研修会等の前段や休憩時間などを利用し、若年層組合員を中心に、労働者福祉事業団体の研修教材を活用し、認知度向上の取り組みをお願いします。
- ②岐阜労福協が主催する、セミナー「10月15日理念・歴史・政策セミナー」・「12月9日勤労者チャリティー文化講演会」・「2026年5月29日記念講演会」、イベント「岐阜

県勤労者球技大会 11月9日ボウリングの部、11月16日ソフトボールの部」・「11月12日チャリティゴルフコンペ」への参加をお願いします。

- ③労福協支部が主催する、各種セミナーや各種イベントへの参加をお願いします。
- ④上記の取り組みについて、貴組織から加盟組織にご周知くださいますようお願いいたします。

2.各労働者福祉事業団体の利用拡大・促進の取り組みについて

(1)東海労働金庫

- ①コア接点(組合員・職域)への浸透(若年層・退職予定者・家族)
- ②家計の見直し運動(webマイプラン)
- ③グッドマネー運動(意志あるお金の結集)
- ④バランスのとれた資産形成(財形・エース・投資信託)
- ⑤知らせる活動(TUNAG・機関紙・セミナー・相談会・チラシ配布)

(2)こくみん共済coop岐阜推進本部

- ①労組役員啓発活動:こくみん共済coopファンの創出
- ②ライフサイクル推進:組合員との接点強化
- ③公式アプリ導入促進に向けた取り組み
- ④重点共済の取組み(団体生命共済・住みいる共済・マイカー共済／自賠償共済・こくみん共済／長期生命共済・新団体年金共済)

(3)岐阜県勤労福祉センター

- ①ワークプラザ岐阜会議室の利用拡大
- ②ライフサポートセンターぎふの取り組み周知

能登米応援セットを(一社)こどもがセンターへ寄贈



2025年4月28日(月) 岐阜労福協は、地方における社会貢献活動の一環として、子ども食堂の運営支援を行う一般社団法人こどもがセンターに、能登半島地震の被災地から購入した能登米応援セット9個(18kg)の寄贈を行いました。



寄贈式では、櫻井事務局長から今回の寄贈趣旨が述べられ、今井事務局長から「このような寄付は大変ありがたく、福祉施設や子ども食堂に配布して、今回いただいたお米を必要とする人たちに支援として届けます」と感謝の言葉をいただきました。

消費者ネットワーク岐阜

第16回総会・記念講演会 開催報告



2025年5月10日(土)、消費者ネットワーク岐阜第16回総会・記念講演会を、岐阜市のハートフルスクエアG 中研修室で開催し、会場とオンライン合わせて71名が参加しました。第2部の記念講演会の模様は、岐阜大学、岐阜女子大学の学生にオンデマンド配信し、今後約200人が視聴する予定です。

総会は、花井副代表の司会で始まり、大藪代表の開会挨拶に続き、4名のご来賓からご挨拶をいただきました。ご挨拶の中では、日頃からの消費者ネットワーク岐阜の取り組みへの感謝の言葉と、この度受賞した「令和7年度消費者支援特別功労者表彰(ベスト消費者サポーター章)」へのお祝いの言葉、昨今の消費者問題をめぐる情勢、岐阜県、岐阜市、県弁護士会、県司法書士会での取り組みや今後の計画、そして今後に向け消費者ネットワーク岐阜との連携強化となお一層の期待を込めたお言葉をいただきました。

続いて、世話人の堀部智子さんが議長に選任され議事に入りました。佐藤事務局長から4つの議案が提案され、会計監査の櫻井が監査報告を行いました。続く審議では発言は無く、その後の採決で全員の方の賛同があり全議案が承認されました。

議長解任の後、御子柴副代表から閉会挨拶がありました。この度の「ベスト消費者サポーター章」受賞は、15年間にわたり支援していただいた皆様のおかげであると感謝するとともに、2025年度は4つの目標のもと12の計画を立てており、濃淡つけてより充実した取り組みを進めていく予定であること、そのためにも会員、行政、関連団体の皆様との連携をさらに密にしていきたいとの決意が述べられました。

記念講演会は、スマートニュースメディア研究所の研究員である長澤江美氏より、「SNS時代のメディアリテラシーを高めるために～情報過多社会の中で、よりよく生きるために大切なこと～」のテーマで約70分間講演がありました。

最後に、御子柴副代表から閉会挨拶があり、終了しました。

中央労福協主催「全国研究集会2025 in TOYAMA」に参加

— 地域が主役!あたたかな子どもたちの居場所を —



▲オープニングセッション



▲トークセッション

2025年6月6日(金)、富山市芸術文化ホール(富山県富山市)大ホールにおいて、中央労福協主催の「全国研究集会2025 in TOYAMA」がHybrid開催されました。全国各地から261名が来場し、岐阜労福協からは高田常任幹事、内藤常任幹事、加藤事務局次長の3名が参加しました。当日は一般にも公開し、YouTubeLiveで生配信され、6月9日現在の再生回数は710回となっています。

冒頭のオープニングセッションでは、総合司会にフリーアナウンサー川村ゆかり氏、ゲストに富山県新田八朗知事、(一社)富山県労福協浜守秀樹理事長が登壇し、歓迎の言葉と富山県の魅力について動画を交えPRするとともに、子育て世代の現状について問題提起がありました。

トークセッションでは、子どもたちが安心して過ごせるあたたかな居場所をいかに築いていくか、また、未来の日本社会を担う子どもたちが、夢を抱きながら成長することができる地域社会のあるべき姿はどのようなものか、日々子どもたちに寄りそう実践者たちが、居場所づくりのこれからを考え、熱く議論しました。今日の事例が一人ひとりの処方箋になればと、それぞれの団体から活動紹介があり、人として丁寧に話を聞き、一緒に過ごして人となりを知ること、地域に広めていくには出番を作る場づくりをして、支えることも誰かのためになること、赤ちゃんから大人まで取りこぼさないよう居場所を継続し、それが関係性の継続になること等、それぞれの取り組みについて共有しました。大人は心の余裕を持ち、こういう考え方もありなのかと一人ひとり「Heart disk(ハート ディスク)」の容量を増やせたらいい、誰でも直ぐにできることとして、まずは相手の話を聞き、一人ひとりできることを考えていく、みんながごちゃ混ぜでつながり、広がっていくことが大切であることを学びました。

今回のトークセッションを通じて、労福協がそれぞれの地域で、市民団体、NPO、社会的企業、行政、学校教育機関等と連携し、どのような取り組みを生み出すことができるのか、参加者が考察する機会となりました。

トークセッション

ファシリテーター
ゲスト

富山国際大学子ども育成学部
(一社)なかのま
(一社)Ponteとやま
NPO法人 大空へ飛べ
労働者福祉中央協議会
岩下紗矢香 氏(いわし〜)

コメンテーター
グラフィックレコーダー

教授 村上 満 氏
代表理事 宮田 隼 氏
代表理事 水野カオル 氏
理事長 谷口 徹 氏
事務局長 南部美智代 氏

お知らせ

チャリティー文化講演会を以下の通り開催します

日 時/2025年12月 9日(火)

開場 18:00 開演 18:30 終演 20:00(予定)

場 所/岐阜市文化センター 小劇場

講 師/平野 早矢香 氏

(ロンドンオリンピック卓球女子団体銀メダリスト)

講演テーマ/「昨日の自分より一歩前へ」

～卓球から学んだ挑戦することの大切さ～

—— その他詳細は、決まり次第お知らせします ——



平野 早矢香 氏